令和８年 11 月25日

各 位

会 社 名　ＡＩスト ー ム株式会社
代表者名代表取締役　今井　俊夫
（コード番号 3719　東証スタンダード市場）
問合せ先管理本部　増尾　雅人
（TEL　03－5259－7010）

（開示資料の追加）「（数値データ訂正）令和８年12月期 第１四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」の開示資料の追加について

当社は、令和８年11月13日に開示いたしました「（数値データ訂正）令和８年12月期 第１四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」について、全文データの添付がございませんでしたので、下記のとおり開示資料を追加いたします。

記

１．追加の理由

令和８年11月13日に開示させていただきました「（数値データ訂正）令和８年12月期 第１四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」につきまして、全文データの添付を行っておりませんでしたので、開示資料の追加を行うものです。

２．訂正の内容

訂正箇所は下線を付して表示しております。

○サマリー情報

１．令和８年12月期第1四半期の業績（令和８年1月1日～令和８年３月31日）

（１）経営成績（累計）

（訂正前）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年12月期第1四半期	553	30.1	133	146.3	119	140.2	110	106.3
7年12月期第1四半期	425	152.3	54	―	49	―	53	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年12月期第1四半期	3.88	3.50
7年12月期第1四半期	2.24	2.19

（訂正後）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
8年12月期第1四半期	401	19.5	△11	―	△18	―	△471	―
7年12月期第1四半期	336	129.7	4	―	5	―	6	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
8年12月期第1四半期	△16.62	―
7年12月期第1四半期	0.27	0.26

（2）財政状態

（訂正前）

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年12月期第1四半期	6,642	2,670	39.6
7年12月期	5,059	2,057	40.3

（参考）自己資本　　8年12月期第1四半期　　2,631百万円　　7年12月期　　1,192百万円

（訂正後）

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
8年12月期第1四半期	6,644	1,420	20.8
7年12月期	4,299	1,389	31.9

（参考）自己資本　　8年12月期第1四半期　　1,381百万円　　7年12月期　　1,373百万円

2．配当の状況

（訂正前）

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年12月期	―	0.00	―	3.00	3.00
8年12月期	―				
8年12月期（予想）		0.00	―	3.00	3.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

（訂正後）

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年12月期	―	0.00	―	3.00	3.00
8年12月期	―				
8年12月期（予想）		0.00	―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

連結業績予想の修正については、本日（令和８年11月13日）公表いたしました「通期における連結業績予想及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」をご覧ください。

（訂正前）

３．令和８年12月期の業績予想（令和８年１月１日～令和８年12月31日）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,600	85.3	200	76.9	160	49.5	100	3.0	3.89
通期	4,000	50.7	500	81.8	400	54.4	240	35.5	9.35

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

（訂正後）

３．令和８年12月期の連結業績予想（令和８年１月１日～令和８年12月31日）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,600	85.3	200	76.9	160	49.5	100	3.0	3.89
通期	2,377	11.1	△517	－	△513	－	△1,719	－	△67.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（令和８年11月13日）公表いたしました「通期における連結業績予想及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付書類　２ページ

（１）経営成績に関する説明

（訂正前）

このような状況の中、当第１四半期累計期間の売上高は、553,336千円(前年同期比30.1%増)となりました。営業利益は133,070千円(前年同期比146.3%増)、経常利益は119,523千円(前年同期比140.2%増)、四半期純利益は110,058千円（前年同期比106.3%増）となりました。

当第１四半期累計期間における売上高につきまして、AIアドバイザリー事業につきましては、JD Edwardsの３社システム統合に関連するプロジェクト案件が引き続き順調に推移しており、昨年と比べスローなスタートではありますが着実に売上を積み上げております。AI&モルタル事業につきましては、中古トラックを活用した投資ファンド２案件へのトラック販売が成約し、期初の計画どおりに推移しております。また、AIニュービジネスにつきましては、 Wi-Fi7やソーラーパネルの販売が成約いたしました。

利益につきましても、AIアドバイザリー事業で利益率を意識した経営を進めてきたことや、AI&モルタル事業でのトラック販売案件が計画どおり獲得できたことにより、期初計画以上の利益を計上することができました。

なお、本年度も経営基盤の再構築を進めるとともに、当社の既存事業領域に隣接した事業領域への事業拡大を進め、積極的に資本・業務提携やM&Aを進めてまいります。

当第１四半期累計期間における「AIアドバイザリー事業」「AI&モルタル事業」「AIニュービジネス事業」の各事業セグメントごとの経営実績は次のとおりであります。

AIアドバイザリー事業の売上高は123,517千円（前年同期比55.3%減）、営業利益は23,995千円（同63.8%減）、AI&モルタル事業の売上高は424,139千円（同184.4%増）、営業利益は195,370千円（同372.8%増）、AIニュービジネス事業の売上高は5,679千円（前年同期計上なし）、営業損失は10,049千円（前年同期計上なし）となりました。

（訂正後）

このような状況の中、当第１四半期累計期間の売上高は、401,811千円(前年同期比19.5%増)となりました。営業損失は11,723千円(前年同期は営業利益4,383千円)、経常損失は18,416千円(前年同期は経常利益5,726千円)、四半期純損失は471,692千円（前年同期は四半期純利益6,436千円）となりました。

当第１四半期累計期間における売上高につきまして、AIアドバイザリー事業につきましては、JD Edwardsの３社システム統合に関連するプロジェクト案件が引き続き順調に推移しており、昨年と比べスローなスタートではありますが着実に売上を積み上げております。AI&モルタル事業につきましては、中古トラックを活用した投資ファンド２案件へのトラック販売が成約いたしました。また、AIニュービジネスにつきましては、Wi-Fi7やソーラーパネルの販売が成約いたしました。

利益につきましては、AIアドバイザリー事業で利益率を意識した経営を進めてまいりましたが、AI&モルタル事業でのトラック販売案件において不適切な仕入取引が発生したことによる売上の修正等により、営業損失を計上することとなりました。

なお、本年度も経営基盤の再構築を進めてまいります。

当第１四半期累計期間における「AIアドバイザリー事業」「AI＆モルタル事業」「AIニュービジネス事業」の各事業セグメントごとの経営実績は次のとおりであります。

AIアドバイザリー事業の売上高は127,417千円（前年同期比53.9％減）、営業利益は27,430千円（同30.9％減）、AI＆モルタル事業の売上高は268,714千円（同348.1％増）、営業利益は61,182千円（同303.1％増）、AIニュービジネス事業の売上高は5,679千円（前年同期計上なし）、営業損失は5,253千円（前年同期計上なし）となりました。

○添付書類　３ページ

（２）財政状態に関する説明

（訂正前）

①　資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前事業年度（以下「前期」という）末と比べ1,582,573千円増加し、6,642,061千円となりました。

流動資産は、前期末に比べ、799,856千円増加し、5,418,702千円となりました。これは主に現金及び預金と未収入金の増加によるものであります。

固定資産は、前期末に比べ、782,717千円増加し、1,223,358千円となりました。これは主に長期未収入金の増加によるものであります。

負債合計は、前期末に比べ、970,232千円増加し、3,972,000千円となりました。

流動負債は、前期末に比べ、217,084千円増加し、2,473,519千円となりました。これは主に未払金の増加によるものであります。

固定負債は、前期末に比べ、753,148千円増加し、1,498,480千円となりました。これは長期未払金の増加によるものであります。

純資産合計は、前期末に比べて612,341千円増加し、2,670,061千円となりました。これは主に、資本金及び資本準備金の増加によるものであります。

（訂正後）

総資産は、前事業年度（以下「前期」という）末と比べ2,345,554千円増加し、6,644,639千円となりました。

流動資産は、前期末に比べ、1,562,836千円増加し、5,421,280千円となりました。これは主に現金及び預金と売掛金の増加によるものであります。

固定資産は、前期末に比べ、782,717千円増加し、1,223,358千円となりました。これは主に長期未収入金の増加によるものであります。

負債合計は、前期末に比べ、2,314,964千円増加し、5,224,623千円となりました。

流動負債は、前期末に比べ、1,561,257千円増加し、3,725,237千円となりました。これは主に契約精算引当金の増加によるものであります。

固定負債は、前期末に比べ、753,706千円増加し、1,499,386千円となりました。これは長期未払金の増加によるものであります。

純資産合計は、前期末に比べて30,590千円増加し、1,420,015千円となりました。これは主に、資本金及び資本準備金の増加によるものであります。

○添付書類　３ページ

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

（訂正前）

令和８年12月期通期の業績については、令和８年２月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

（訂正後）

令和８年12月期通期の業績につきましては、本日（令和８年11月13日）公表いたしました「通期における連結業績予想及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付書類　４ページ

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（訂正前）

（単位：千円）

	前事業年度 （令和７年12月31日）	当第１四半期会計期間 （令和８年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	388,700	722,810
売掛金	2,821,514	2,724,155
商品	204,847	195,654
仕掛品	182,183	214,120
前払費用	180,993	215,914
未収入金	526,526	928,917
リース投資資産	203,432	189,578
前渡金	149,332	240,663
その他	691	26,489
貸倒引当金	△39,375	△39,601
流動資産合計	4,618,846	5,418,702
固定資産		
有形固定資産	147,000	149,173
無形固定資産	24,629	23,720
投資その他の資産	269,011	1,050,464
固定資産合計	440,641	1,223,358
資産合計	5,059,487	6,642,061
負債の部		
流動負債		
買掛金	865,721	1,437,699
短期借入金	728,400	155,000
１年内返済予定の長期借入金	100,380	100,380
リース債務	57,966	59,303
未払金	193,431	593,598
未払費用	15,590	9,282
未払法人税等	109,330	13,371
未払消費税等	34,133	9,804
賞与引当金	9,600	5,624
前受金	139,659	60,327
その他	2,220	29,127
流動負債合計	2,256,434	2,473,519
固定負債		
長期借入金	222,428	192,607
長期未払金	7,083	810,055
長期リース債務	150,752	139,053
長期前受収益	335,372	326,575
退職給付引当金	29,697	30,189
固定負債合計	745,332	1,498,480
負債合計	3,001,767	3,972,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	458,236	739,208
資本剰余金	1,371,385	1,652,358
利益剰余金	325,327	353,326
自己株式	△113,641	△113,641
株主資本合計	2,041,308	2,631,251
新株予約権	16,411	38,809
純資産合計	2,057,720	2,670,061
負債純資産合計	5,059,487	6,642,061

（訂正後）

（単位：千円）

	前事業年度 （令和７年12月31日）	当第１四半期会計期間 （令和８年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	388,700	722,810
売掛金	1,134,468	1,788,368
商品	204,847	195,654
仕掛品	180,383	207,820
前払費用	241,947	305,354
未収入金	398,273	800,125
リース投資資産	203,432	189,578
前渡金	1,053,795	1,044,417
仮払金	38,191	42,251
未収還付法人税等	－	94,920
未収消費税等	33,117	26,424
その他	691	22,957
貸倒引当金	△19,404	△19,404
流動資産合計	3,858,443	5,421,280
固定資産		
有形固定資産	147,000	149,173
無形固定資産	24,629	23,720
投資その他の資産	269,011	1,050,464
固定資産合計	440,641	1,223,358
資産合計	4,299,085	6,644,639
負債の部		
流動負債		
買掛金	155,661	209,772
短期借入金	728,400	155,000
１年内返済予定の長期借入金	100,380	100,380
リース債務	57,966	58,723
未払金	375,316	923,581
未払費用	15,590	9,282
未払法人税等	11,359	0
未払消費税等	34,133	0
賞与引当金	9,600	5,624
契約精算引当金	188,434	1,246,065
前受金	484,916	987,679
その他	2,220	29,127
流動負債合計	2,163,980	3,725,237
固定負債		
長期借入金	222,428	192,607
長期未払金	7,083	810,055
長期リース債務	150,752	139,633
長期前受収益	335,718	326,900
退職給付引当金	29,697	30,189
固定負債合計	745,679	1,499,386
負債合計	2,909,659	5,224,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	458,236	739,208
資本剰余金	1,371,385	1,652,358
利益剰余金	△342,967	△896,719
自己株式	△113,641	△113,641
株主資本合計	1,373,013	1,381,205
新株予約権	16,411	38,809
純資産合計	1,389,425	1,420,015
負債純資産合計	4,299,085	6,644,639

○添付書類　５ページ

（２）四半期損益計算書

（訂正前）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　令和７年１月１日 至　令和７年３月31日）	当第１四半期累計期間 （自　令和８年１月１日 至　令和８年３月31日）
売上高	425,474	553,336
売上原価	311,074	140,107
売上総利益	114,399	413,229
販売費及び一般管理費	60,371	280,159
営業利益	54,027	133,070
営業外収益		
受取利息	70	1,133
受取手数料	110	629
その他	4	－
営業外収益合計	184	1,762
営業外費用		
支払利息	4,335	7,293
支払保証料	123	238
暗号資産評価損	－	7,655
為替差損	－	121
営業外費用合計	4,459	15,309
経常利益	49,752	119,523
特別利益		
投資有価証券売却益	3,707	－
特別利益合計	3,707	－
税引前四半期純利益	53,459	119,523
法人税、住民税及び事業税	112	9,464
法人税等合計	112	9,464
四半期純利益	53,347	110,058

（訂正後）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　令和７年１月１日 至　令和７年３月31日）	当第１四半期累計期間 （自　令和８年１月１日 至　令和８年３月31日）
売上高	336,307	401,811
売上原価	267,285	182,554
売上総利益	69,022	219,256
販売費及び一般管理費	64,638	230,980
営業利益又は営業損失（△）	4,383	△11,723
営業外収益		
受取利息	70	1,090
受取手数料	5,727	7,484
その他	4	－
営業外収益合計	5,801	8,574
営業外費用		
支払利息	4,335	7,250
支払保証料	123	238
暗号資産評価損	－	7,655
為替差損	－	121
営業外費用合計	4,459	15,266
経常利益又は経常損失（△）	5,726	△18,416
特別利益		
投資有価証券売却益	3,707	－
特別利益合計	3,707	－
特別損失		
契約精算損	－	452,936
特別損失合計	－	452,936
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	9,433	△471,352
法人税、住民税及び事業税	2,996	340
法人税等合計	2,996	340
四半期純利益又は四半期純損失（△）	6,436	△471,692

○添付書類　６ページ

（セグメント情報等の注記）

（訂正前）

Ⅰ　前第１四半期累計期間（自 令和７年１月１日 至 令和７年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期財務諸表計上額
	AIアドバイザリー事業	AI&モルタル事業	AIニュービジネス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	276,339	149,134	－	425,474	－	425,474
計	276,339	149,134	－	425,474	－	425,474
セグメント利益又は損失（△）	66,212	41,324	－	107,536	△53,509	54,027

（注）１．セグメント利益の調整額△53,509千円には、セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報該当事項はありません。

II　当第１四半期累計期間（自 令和８年１月１日 至 令和８年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期財務諸表計上額
	AIアドバイザリー事業	AI&モルタル事業	AIニュービジネス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	123,517	424,139	5,679	553,336	－	553,336
計	123,517	424,139	5,679	553,336	－	553,336
セグメント利益又は損失（△）	23,995	195,370	△10,049	209,315	△76,245	133,070

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△76,245千円には、セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報該当事項はありません。

（訂正後）

Ⅰ　前第１四半期累計期間（自　令和７年１月１日　至　令和７年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期財務諸表計上額
	AIアドバイザリー事業	AI&モルタル事業	AIニュービジネス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	276,339	59,967	－	336,307	－	336,307
計	276,339	59,967	－	336,307	－	336,307
セグメント利益又は損失（△）	39,689	15,178	－	54,867	△50,483	4,383

（注）１．セグメント利益の調整額△50,483千円には、セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期累計期間（自　令和８年１月１日　至　令和８年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期財務諸表計上額
	AIアドバイザリー事業	AI&モルタル事業	AIニュービジネス事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	127,417	268,714	5,679	401,811	－	401,811
計	127,417	268,714	5,679	401,811	－	401,811
セグメント利益又は損失（△）	27,430	61,182	△5,253	83,359	△95,083	△11,723

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△95,083千円には、セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

○添付書類　10ページ

（追加情報）

（訂正前）

当社は、令和８年５月15日開催の取締役会において、過年度における中古トラック売買取引に係る特別調査委員会を設置することを決議しております。詳細につきましては、本日開示いたしました「特別調査委員会の設置に関するお知らせ」をご参照ください。

（訂正後）

（不適切な会計処理について）

当社は令和８年５月15日付け「特別調査委員会の設置に関するお知らせ」のとおり、当社の中古トラック売買に関し、不適切な取引が行われていた疑いが確認されたことに伴い、事実関係やその原因等を明らかにするために、専門性及び客観性のより高い調査を実施する必要があると判断し、令和８年５月15日付で外部の弁護士・公認会計士で構成される特別調査委員会を設置し、本件の事実関係の解明、本件による財務諸表への影響の有無及び影響額の検討、本件に類似する事案の有無の確認、本件が生じた原因の分析と再発防止策の提言を求めることといたしました。

その後、令和８年９月１日付け「特別調査委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」のとおり、当社は特別調査委員会より調査報告書を受領し、本件中古トラック売買において、不適切な取引が行われていたことが認められました。

本件中古トラック売買に関する不適切取引の取消しの結果を財務諸表等に反映するため、過去に提出済みの有価証券報告書等に記載されている財務諸表を訂正することといたしました。なお、今回の訂正にあたっては、訂正の原因となった事象を財務諸表に反映した結果として影響を受ける事項、過年度において重要性がないため訂正を行っていなかった事項の訂正も併せて行っております。

以　上